

2026年2月期 中間期 決算説明資料

セントラル警備保障株式会社 (9740)

2025年10月9日 決算発表

会社概要

商 号 セントラル警備保障株式会社
CENTRAL SECURITY PATROLS CO.,LTD.

創 業 1966年3月10日
設 立 1972年4月19日

資 本 金 29億2,400万円

代 表 者 代表取締役執行役員社長 市川 東太郎

本 社 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

従 業 員 数 連結:7,162名、単体:4,034名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東日本旅客鉄道株式会社	3,704	25.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,422	9.8
光通信株式会社	627	4.3
セントラル警備保障社員持株会	556	3.8
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	524	3.6
セントラルセキュリティリーグ持株会	500	3.4
三井物産株式会社	445	3.1
日本カストディ銀行(信託口)	355	2.4
HSBC BANK PLC A/C M AND G (ACS) VALUE PARTNERS CHINA EQUITY FUND	294	2.0
竹花 長雅	230	1.6

※ 持株数は、千未満を切捨てて表示しております。

※ 持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

※ 上記の他、自己株式を288千株保有しております。(発行済株数に対して1.9%)

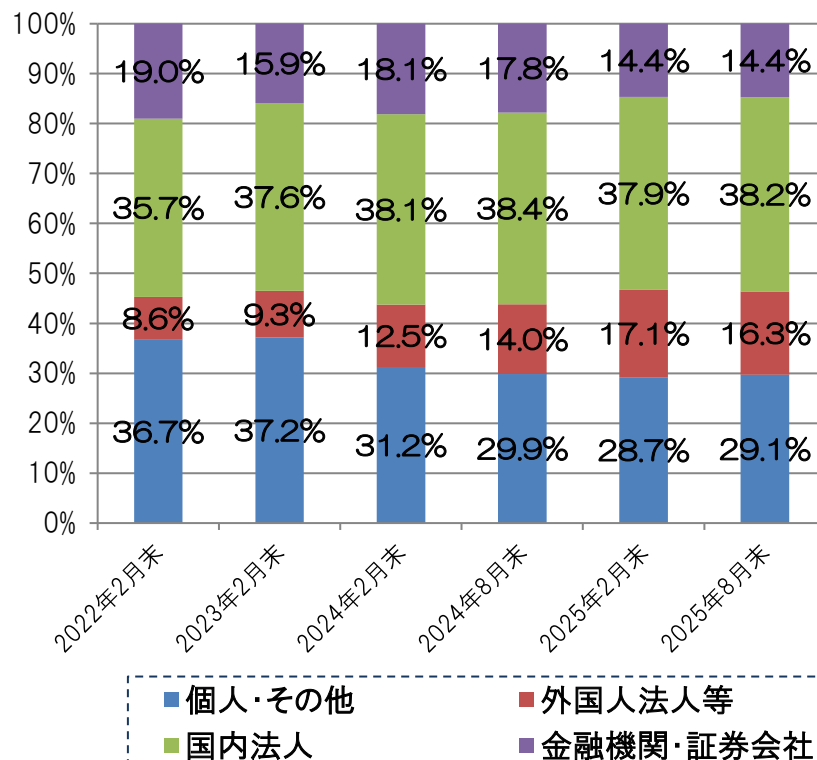
株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株

発行済株式の総数 14,816,692株

株 主 数 5,569名

所有者別株式分布状況



2026年2月期 中間期 連結業績 ハイライト

中間期 連結業績の状況（前年同期比）

前年比で売上は増収、営業・経常利益も増益、当期純利益が減益の業績となりました。

（単位：百万円）

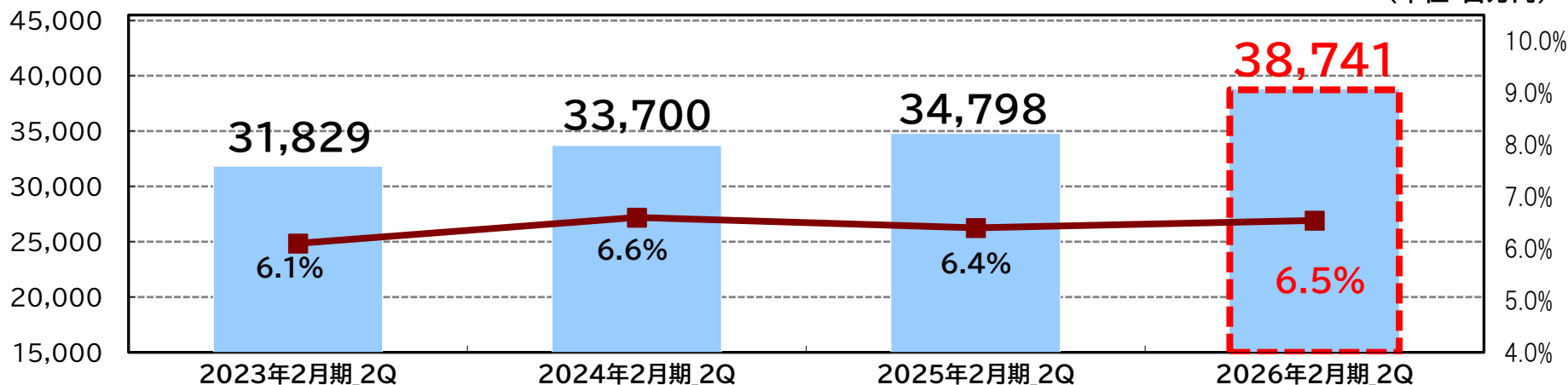
	2025年2月期 2Q	2026年2月期 2Q	増 減	前年同期比
売上高	34,798	38,741	+ 3,942 *1	111.3%
営業利益	2,238	2,533	+ 295	113.2%
営業利益率	6.4%	6.5%	+ 0.1%	—
経常利益	2,342	2,628	+ 285	112.2%
親会社株主に帰属する純利益	1,817	1,698	▲ 119 *2	93.4%
1株あたり純利益（円）	124.61	117.41	▲ 7.20	—

*1) 売上：常駐警備（新規：高輪ゲートウェイシティ、前期M&A、大阪・関西万博臨時警備）、機器工事案件が好調だったこともあり増収

*2) 利益：前年実施した政策保有株式（日本ハウズイング株式）売却の反動により、純利益のみ減益となりました

中間 連結経営業績の推移

（単位：百万円）



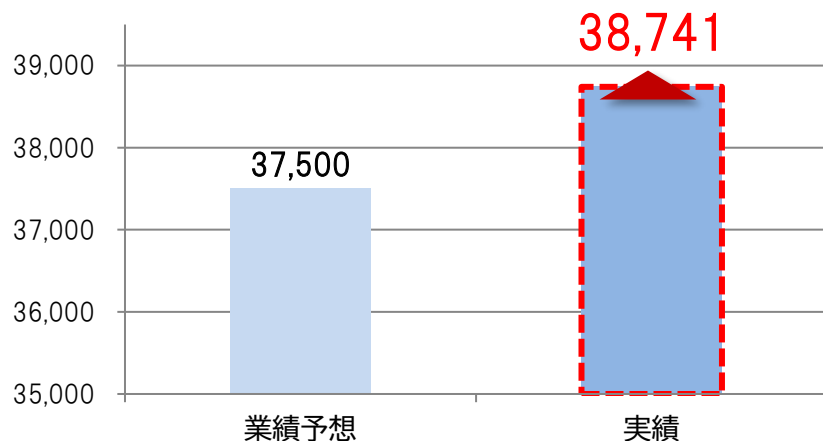
連結業績予想と実績対比（公表比）

2025年4月11日付公表の中間業績予想に対して、売上・利益ともに予想を上回りました。

売上・利益(営業利益・経常利益・純利益)の主な要因は、常駐警備の料金見直し、大阪・関西万博の追加臨時警備 および「火災安全対策システム」などの工事販売が貢献したものです。

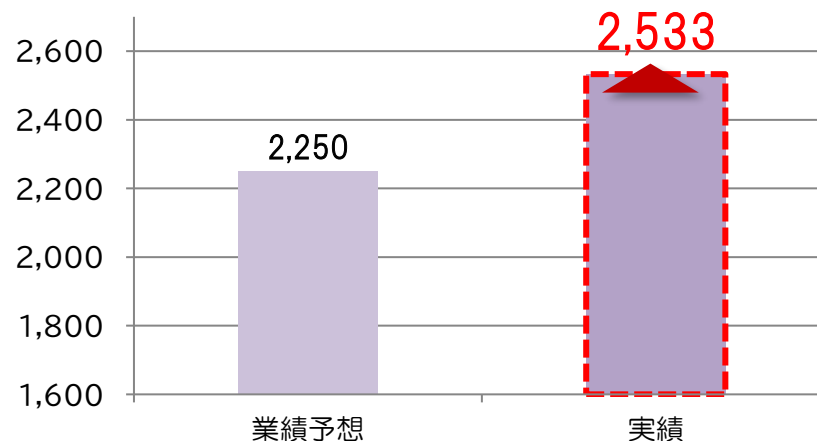
売上高

(単位：百万円)



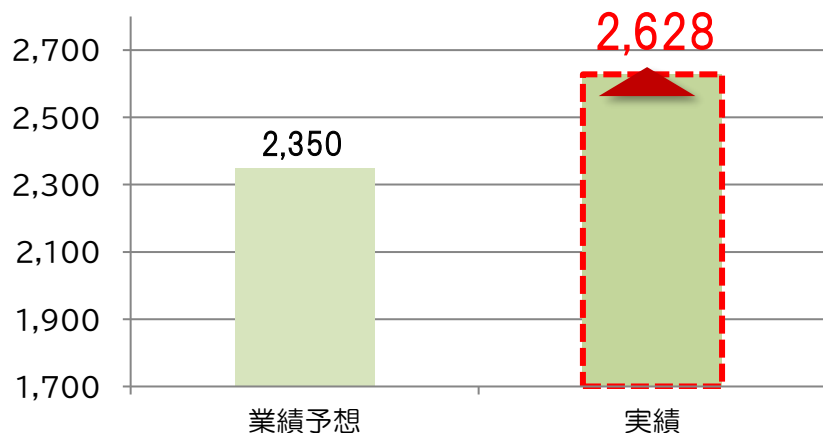
営業利益

(単位：百万円)



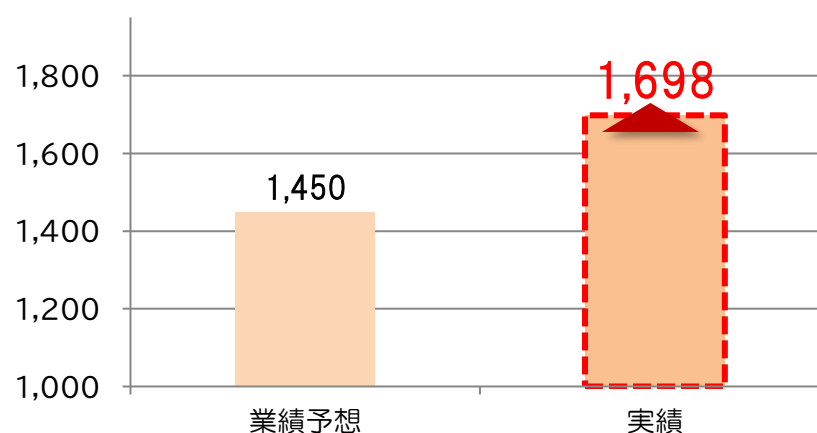
経常利益

(単位：百万円)



純利益

(単位：百万円)

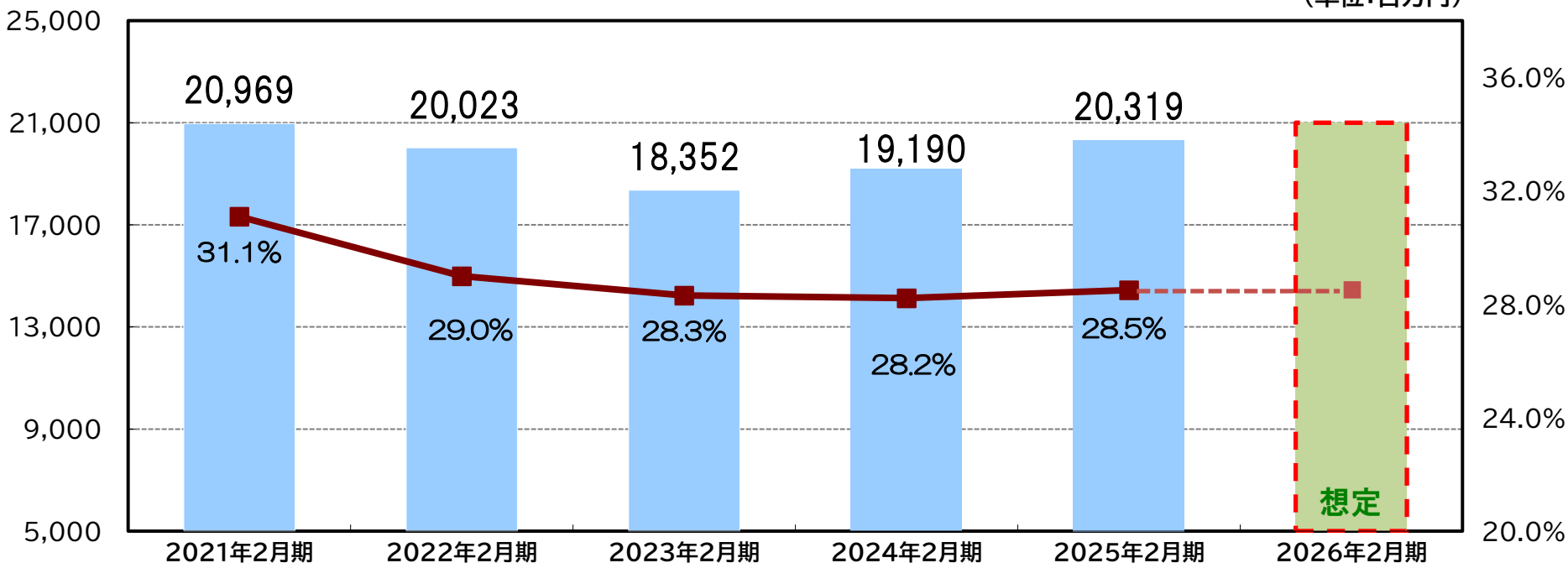


JR東日本向けの売上推移

	2021年2月期		2022年2月期		2023年2月期		2024年2月期		2025年2月期		2026年2月期	
	金額 (百万)	全体に 占める割 合(%)	金額 (百万)	全体に 占める割 合(%)	金額 (百万)	全体に 占める割 合(%)	金額 (百万)	全体に 占める割 合(%)	金額 (百万)	全体に 占める割 合(%)	金額 (百万)	全体に 占める割 合(%)
中間	5,912	17.40%	6,136	17.80%	4,518	14.20%	4,928	14.60%	4,717	13.60%	5,074	13.10%
期末	11,694	17.30%	11,110	16.10%	9,343	14.40%	9,799	14.40%	9,961	13.90%	—	—

JR東日本グループ向けの売上推移

(単位:百万円)



常駐警備と機器工事が大きく増加

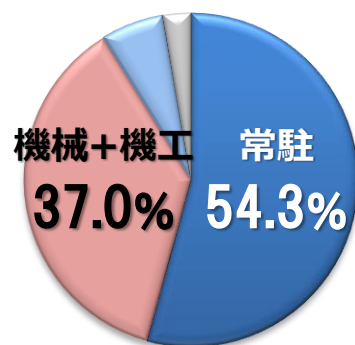
	2025年2月期_2Q		2026年2月期_2Q		増 減		
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	前年比	構成比
常駐警備（百万円）	17,184	49.4%	19,654	50.7%	+ 2,470 ^{*1}	114.4%	+ 1.4%
機械警備（百万円）	10,938	31.4%	11,154	28.8%	+ 216 ^{*2}	102.0%	▲ 2.6%
運輸警備（百万円）	1,683	4.8%	1,737	4.5%	+ 54	103.2%	▲ 0.4%
工事・機器販売（百万円）	4,021	11.6%	5,256	13.6%	+ 1,235 ^{*3}	130.7%	+ 2.0%
セキュリティ事業計（百万円）	33,827	97.2%	37,802	97.6%	+ 3,975	111.8%	+ 0.4%
不動産・ビル管理（百万円）	971	2.8%	938	2.4%	▲ 33	96.6%	▲ 0.4%
総 合 計	34,798	—	38,741	—	+ 3,942	111.3%	—

^{*1}）常駐は、新規案件（高輪ゲートウェイシティ）、前年のM&A（阪急阪神HS）、大阪・関西万博の臨時警備などで増収

^{*2}）機械は、4月のM&A案件（日本連合警備）などで微増となりました。

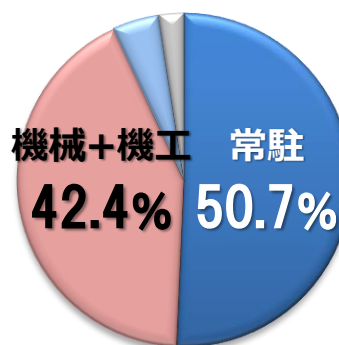
^{*3}）機器工事では、防犯カメラや入退室システムなどの大口の案件（高輪ゲートウェイシティ）等の販売が好調に推移して増収

2019年2月期（実績）
売上構成比



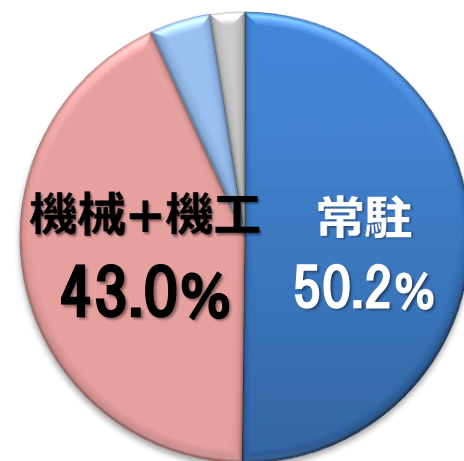
■ 常駐 ■ 機械+機工 ■ 運輸 ■ ビル管理

2026年2月期（中間実績）
売上構成比



■ 常駐 ■ 機械+機工 ■ 運輸 ■ ビル管理

2026年2月期（通期公表）
売上構成比



■ 常駐 ■ 機械+機工 ■ 運輸 ■ ビル管理

収益性の高い“機械警備と機器工事”の増加 および
比率の大きい“常駐警備の利益率向上（値増しと構造変革）”を目指す

基本方針と注力事項

ブランドコンセプト

Creative Security Partner

～ 全ての人々の想いを

お客さま
(企業様も個人さまも)

一緒に仕事を
する会社や人々

社員

株主

パートナーとなって実現します ～

- ・いつも見守り、いざという時は速やかに駆け付けて、寄り添い、対応します。
- ・課題の解決策や業務の改善策を提供して、実現します。
- ・お客さまのために、連携してより良いモノやサービスを提供して、お互いの貢献度に応じて利益を配分して、三方良しを実現します。
- ・キャリアアップイメージを示して、教育や資格取得の充実と、昇進制度や人財運用の最適化を図り、社員が自信を持って仕事ができることを実現します。
- ・仕事もプライベートも充実できる賃金・勤務制度・職場環境を実現します。
- ・会社を持続的に発展させて、配当を着実に増やしていきます。
- ・PBRを意識して企業価値を上げる取り組みを行います。

● 標語

私たちは「**Creative Security Partner**」として、安全・安心・快適な社会基盤を提供します。

この街には、C S P がいる。

ソリューションの提供



ワンストップ
ビル管理サービス

CSPクラウドサービス

新たなソリューションビジネスの提供

基盤事業の拡大



画像サービスの拡大



ドローンの活用

成長分野の事業の拡大

基盤事業の変革

次世代の
常駐警備

次世代の
機械警備

輸送警備の
新モデル創出

機器販売・工事の
ストックビジネス化

既存ビジネスの変革による新モデルの創出

安全・安心・快適な社会基盤を提供します

警備・サービスを支える技術

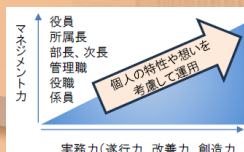


カスタムメイドシステム

AI & IoTの活用

AI & IoTの活用による
新たな警備サービスの構築

警備・サービスを実現する人



処遇改善
職場環境の整備
育成目的の人財運用
適正な評価制度

チャレンジを続けて
未来を創造する人の育成

持続的な運営

- ・ 効率化による向き合う時間の創出
- ・ C S Pグループの相互連携の強化
- ・ 関係する会社との総合力を強化
- ・ 資本コストや株価を意識して経営
- ・ 継続的なサステナビリティへの取組
- ・ 株主還元施策

持続的に成長して企業価値を向上

第54期 上半期の取り組み状況

- ✓ 高輪ゲートウェイシティ
セキュリティプラットフォーム「 梯 」を導入
- ✓ 画像サービスの拡販
AI 画像解析システム「 VACS 」を京王電鉄に試験導入
- ✓ ドローンの拡販
CSP独自ブランド「 D シリーズ 」のご紹介
- ✓ M&A
日本連合警備(山梨)がCSPグループ会社に加わった

TAKANAWA GATEWAY CITYで導入のセキュリティプラットフォーム「梯(かけはし)」の活用

梯の活用

- ◆ 高輪ゲートウェイシティで実用化
- ◆ 他の案件へ水平展開



エリアマネージメントへの活用

- ◆ 複数街区、建物の情報を梯に集約してエリアにある対象施設を一元管理



最適な提案・指示

(自動)

(情報)

(報告)

AIを活用したデータ解析

エリア全体のセキュリティ情報の集約



エリア
管理者



警備員
位置情報



現地対応



ウェアラブル
カメラ



入館ゲート



設備機器



監視カメラ



入室管理



警備
センサー



警備ロボット

AI 画像解析システム「VACS システム」

長沼駅 京王片倉駅
山田駅 狹間駅

京王電鉄(駅構内)に試験導入！！

⇒ ここで培ったノウハウを深く蓄積して他箇所へも展開！！



CSP 独自ブランド「D シリーズ」

ハイクラスの
情報セキュリティ対策を実装

CSP ブランドの「ドローン」および「カウンタードローンシステム」の受注を開始!!

【機体提供】【メンテナンス】【警備計画策定】【パイロット対応】【パイロット養成】など

⇒ お客さまに応じてサービスを組み合わせて提供

高性能ドローン

商品名【CSP_EVO】

《商品概要》

高度な暗号化技術に加え、完全なオフラインでの運用を実現したドローン



官公庁向

カウンタードローンシステム

商品名【EnforceAir2】※1

【CSP-DD003】

【CSP-DD005】

《商品概要》

※1: 乗っ取り機能を有する法執行機関専用システム

・優れたポータブル性能を持ちながら、解析・識別及びマップ表示機能を備えた高性能カウンタードローンシステム



空港・原発向

官公庁向

イベント向

移動式多機能車両

商品名【CSP-Drone Base Car】

《商品概要》

ドローンの離発着機能からマルチモニタによる各種システムの監視、電源車機能を用いた有線給電式ドローンとの連携、衛星通信による災害支援機能や車載型カウンタードローンシステム等、搭載した移動式多機能車両

また、お客さまのご要望に合わせてカスタマイズして車両の販売・リースの他、当社車両のレンタルにも対応



有・無線ハイブリッドドローン

商品名

【CSP_EVT001】

《商品概要》

サーマルカメラ及びAIを搭載、有線給電化し、上空からの長時間連続監視を実現したドローン



点検向

防災向

イベント向

照明特化型ドローン

商品名【CSP-D_Light530】

商品概要：人によって持ち運べるポータブル性能を持つ照明に特化したドローン



防災向

点検向

イベント向



日本連合警備

商 号 : 日本連合警備株式会社
 本 社 : 山梨県甲府市後屋町363番地
 資 本 金 : 50百万円
 代 表 者 : 代表取締役 三谷 武士
 設 立 : 1969年9月25日
 株 主 : CSP(100%)
 社 員 数 : 180名
 事 業 内 容 : 機械警備／店舗・事務所・工場・駐車場
 常駐警備
 現金輸送
 ホームセキュリティ／戸建・マンション
 防犯装置・火災装置の設計・施行・保守
 警 備 総 数 : 約6,000件



【参考】

日本連合の直近の経営成績及び財政状態
(M&A実施前)

決算期	2022/5	2023/5	2024/5
純資産	709	852	1,014
総資産	1,843	2,024	2,343
売上高	1,466	1,457	1,441

※ 決算期を5月から12月に変更

今後の取り組み

- ✓ 高輪ゲートウェイシティ
～ 全面開業に向けて ～
- ✓ 鉄道向けソリューション
民鉄を含めた鉄道事業者へ展開
- ✓ M&Aによる事業拡大を今後も継続

TAKANAWA GATEWAY CITY 開業スケジュール

【 まちびらき 】

THE LINKPILLAR 1 開業
高輪ゲートウェイ駅 全面開業

JWマリオット・ホテル東京 開業

NEWoMan TAKANAWA 開業

【 グランドオープン 】

THE LINKPILLAR2 開業
MoN Takanawa:
The Museum of Narratives 開業
TAKANAWA GATEWAY
CITY RESIDENCE 開業

2025年3月

2025年9月

2025年10月

2026年3月

AI
SECURITY PLATFORM
KAKEHASHI

梯

セキュリティプラットフォーム「梯」等を
活用したエリアマネジメントの
常駐警備物件等へ水平展開

AI
SECURITY PLATFORM
KAKEHASHI

梯 × エリア
マネジメント



今後も

M & Aによる事業拡大
を積極的に実施

これまでの
実績の
振り返り

● 2025 日本連合警備

● 2024 阪急阪神ハイセキュリティサービス

● 2023 東亜警備保障

● 2021 CSP東北

● 2019 シーティディーネットワークス(グラスフィアジャパン)

● 2016 特別警備保障

● 2014 HOPEグループ(長野県パトロール・長野県交通警備)

開発中の新商品について

- ✓ 警備ロボット
ニーズに応じた機能向上により利用シーンを拡大
- ✓ 次期エマージェ
新機能を搭載し、デザインも刷新
- ✓ スマートキーシステム
物理鍵の問題を解決しスマートな運用を実現

お客さまのニーズに応じて「人」と「ロボット」の最適な組合せで警備・サービスを提供

既存機能

正確で安全な自律走行



映像監視・録画



AI画像解析で人や異常を発見



更なる機能向上

警備ロボット導入拡大に向けて、機能向上に取り組む。

検知機能強化

- 生成AIを活用した異常検知
- 異音検知



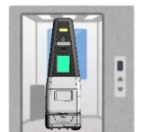
案内・情報発信機能強化

- 警備ロボット案内機能向上



運用性能強化

- エレベータ連携機能
- 自動充電機能






緊急時に「つながる安心・安全」 場所を選ばずCSPへつながります。

主な機能：モバイル通信・ブザー鳴動・端末位置情報・音声通話・関係者への同報送信等

・エマージェの商品力向上のために次期エマージェを開発

- ・端末オリジナル設計による操作性の向上
- ・従来の「非常」「緊急」信号に加え、「情報」信号機能を追加することによる販路拡大

新機能

非常モード	緊急モード	情報送信モード
<p>外的要因による非常時に使用</p> <p>・駅業務 ・徒歩移動 ・ストーカー対策</p> 	<p>体調不良による緊急時に使用</p> <p>・高齢者 ・施設入居者</p> 	<p>現着連絡等に使用</p> <p>※非常時には非常信号送信可能</p> <p>・警乗業務 ・訪問介護 ・訪問買取</p> 

現行エマージェ



現行エマージェをご利用のお客様の声を反映しながら次期エマージェを開発中 >>>

次期エマージェ

開発中

- ・操作性向上
- ・モバイル通信安定化
- ・複数通信キャリア対応
- ・信号種別の追加

- ・物理鍵の個別管理が必要である
- ・鍵貸し出しに関わる手間が発生する
- ・解錠操作の履歴管理ができていない

- ・**物理鍵が不要**で、管理・記録が出来る**南京錠**の検討
- ・新たな価値の提供・市場での優位性を確保する

物理鍵が不要・WEBで管理可能



物理鍵に由来する**課題を解決**



複数施設を管理する事業者が主なターゲット



鉄道事業者



通信事業者



電力事業者



水道事業者



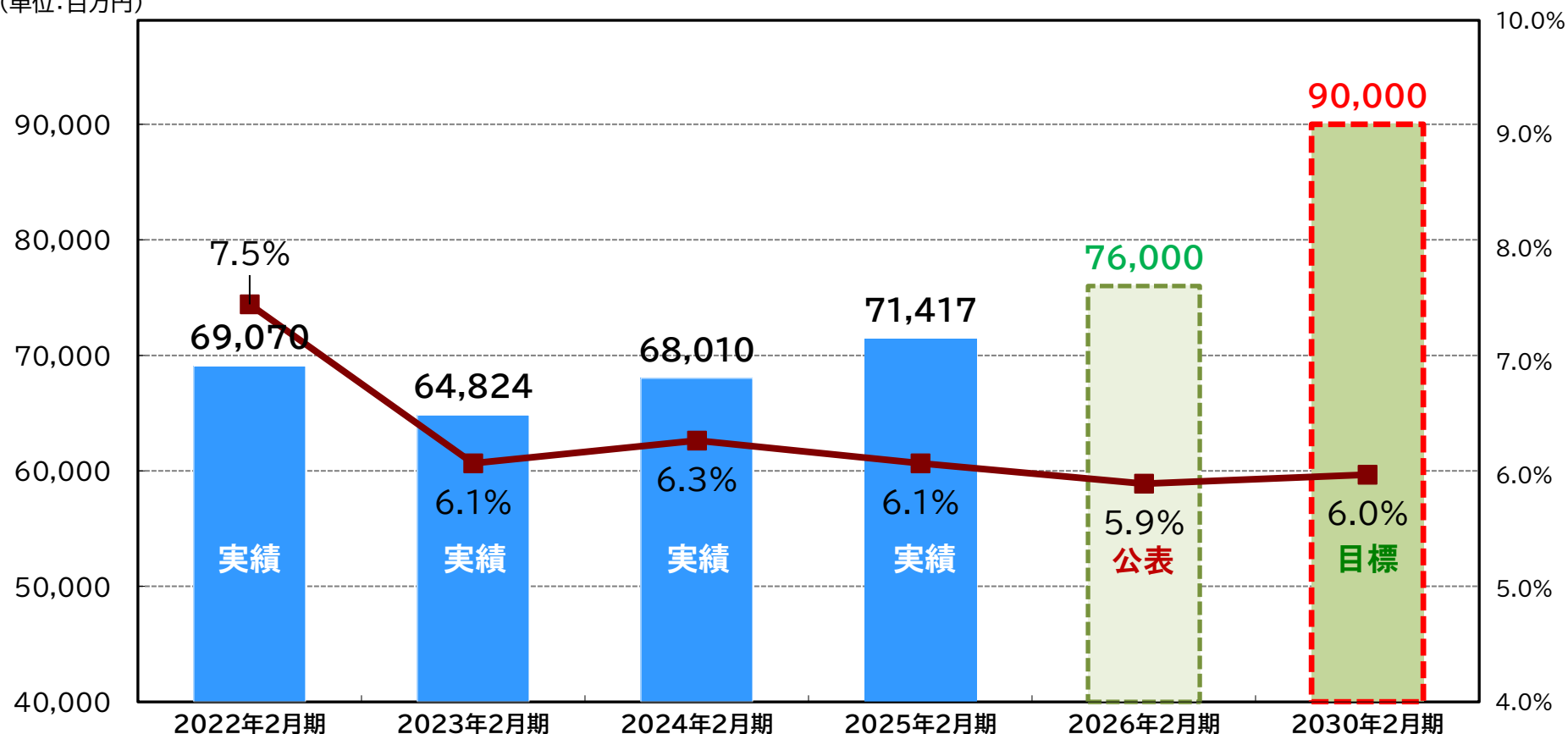
管理会社（ビル/マンション/駐車場）



その他

売上と利益率の推移

(単位:百万円)



Creative 2025

新中期
経営計画

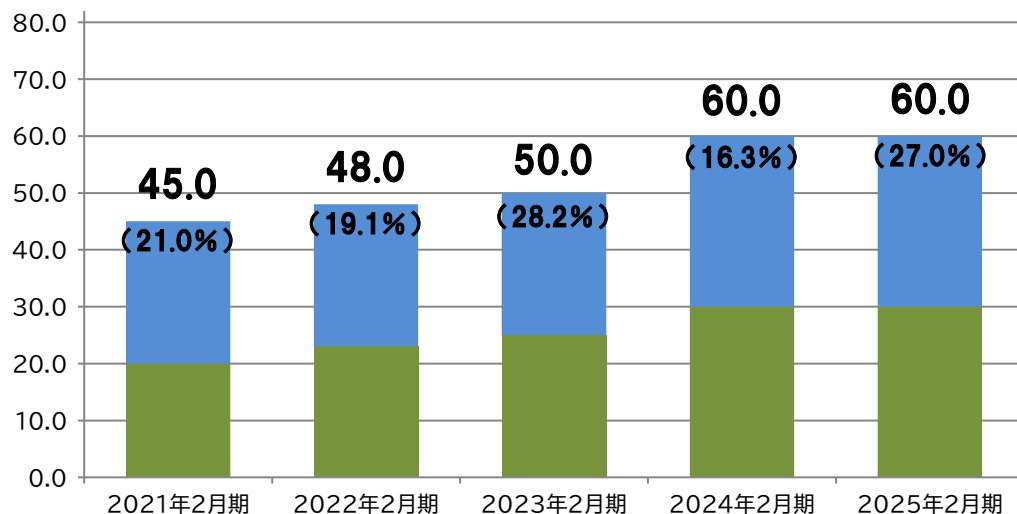
想い 2030

配当方針

当社は、経営基盤のより一層の強化と今後の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様にご業績に応じた利益還元を図るため、安定した配当を継続的に行うことを利益配分に関する基本方針としております。

2026年2月期 中間実績・期末予想

前年までの配当金推移



30.0円

中間配当
(実績)

30.0円

期末配当
(予想)配当
合計

60 円